

おおあらい

第53号
発行所 大洗町役場
発行人 加藤 清
印刷所 新いばらき印刷局
〒111 水戸2051914

高まる郷土建設のいぶき



活況を呈する大洗港

幾山河を越えて

新しき歴史の創造

町長 加藤 清

幾山河越え去り行かば寂しさの
はてなむ国ぞ今日も旅行く

これは歌人若山牧水の詠んだ代表作の一つであるが、これを生活という、生々しい実態の中で捉えてみれば、種々の感懐が湧いてくる。また地域づくりというきびしい現実の中でも同じである。私達の前面には常に幾つかの山が立ちちはだかっている。

如何にしてそれを越えて行くか、そのためには試練と苦闘が絶えず続くし、また私達は出来るだけそれに

私達は既に大洗港という産業振興の拠点をつくった。しかし、それは未だ登りつつある山の中腹である。鉄道という建設の歴史もこれから始まるんとしているし、高校建設という教育の歴史もこれから画いて行かなければならない。勿論農業や水産業や、商業や観光、或いは原子力産業など、地域の持つ生活の場を、これからどう展開させるかに就いても出来る限りの力を尽さねばならない。

住民の生活と直結する、ごみ、し尿処理については、施設もやっと整備されて明るい見通しもついたが、未だ町道の中で整備のおくれているところや、排水、側溝など不完全な箇所があるのでこうした環境整備の面もできるだけ急がなければならない。

現在私達が私大洗という地域の中に住み、静かに明日を考える時、私達は今大きな歴史的転換の時代を迎えんとしており、更に勇気を出して新しい歴史を創造して行かねばならない。今時点を立っていることを、しみじみと感ずる次第である。幸いにして大洗港も船曳場の問題が決まり本年度二億一千万円の予算で防波堤と波除堤、浚渫工事がはじまったし、魚市場に付帯する冷蔵庫も防衛庁の補助事業で六千六百万円の予算がつき着工の見通しもついた。また永年の懸案であった南中学の体育館が四千



二百萬円の事業費内中三千五百萬円の本体工事の建設がはじまり、一中の給食施設は一千六百万円の予算で去る九月、同時に起工式を行なった。何れも本年度内に完成する予定である。たまたま射撃場返還に関連して来年一月に米軍の飛行が中止されるという声明が発表され、防音に対する予算補助の問題が起きてきた。本町ではタイミングよく防音校舎の建設は全部終わったが、ここで問題になるのは庁舎の建設である。何しろ一年間の運動が実を結び関東で初めての防音庁舎として、二年連続で計画も出来上がり、予算の内示もあった。本年度分は3階建の躯体工事だけであるが、曲松の町有敷地も決まって、本年度内に着工する予定であり、全力を尽して完成に持ちこみたいと思っている。

今年度は天候も順調で台風も免がれ稲の取入れも済んでよかったと思うとたん、桜道の火災に見舞われた。消防団の目覚まし活躍と、多くの方々の御厚情を心から感謝すると共に、これから火災の季節に入るのでお互いに火の元には出来るだけ注意しなければならぬ。私達は越えてきた山を振り返り、経てきた風雪を想う時、いつでも心に浮かぶのはこんこんと湧き出づる清冽な岩清水の発見である。それは濁りのない人の心と心のふれ合いであり、金や物で買おうことの出来ない人の心の暖かさでもある。これがただ私達を勇気づけてきたであろうか。私達はいつでもそうした友情を大切にしなければならぬし、又それを地域の中で育てて行かなければならないと思ふ。

現在私達は今まで物の豊かさを求めるあまり却って物価高や交通禍、或は公害等に悩まされている。一九七〇年代はこうした人間社会のひずみを立て直し更に一層心の豊かさを求めて生きるべきではなからうか。私達はこれからも人間と自然の調和した住みよい地域社会をつくるためにまた幾つもの山を越えねばならない。大洗沖のあかね色に染めた夕焼け雲を眺めながら、さあ明日も元気で行こう。

議会だより

9月定例会終る

第百(九月二十五日) 本会議は休会、総務常任委員会のみの開かれ、付託された三議案と陳情一件が審議されました。

第百(九月二十六日) 本会議

第五回大洗町議会定例会は、去る九月二十四日から二十六日までの三日間の会期で開かれ、条例の改正や、補正予算及び陳情などの審議が行なわれました。

第一(九月二十四日) 本議会
一、大洗町の基本構想を定めることについて
去る六月定例会で特別委員会において審議されましたが、菊池委員長報告があり原案通り可決されました。

二、同じく六月定例会において特別委員会に付託審議されていた「鹿島線路線変更に関する陳情」については、飯島委員長報告があり不採択となりました。

三、役場の位置を変更する条例は総務常任委員会に付託となりました。

四、国保条例の改正(助産費、養育費、育児手当などを引き上げるもの)とこれに關係のある国保会計の補正予算もいっしょに総務常任委員会に付託されました。

五、一般会計補正予算(二千三百八十七万二千円の追加)と四百八十九万円の追加する魚市場会計補正予算は両案とも市場会計補正予算は両案とも原案の通り可決されました。

六、任期満了となった教育委員一名と、公平委員一名の選任については、別掲の通りそれぞれ同意されました。

七、議案に提出された陳情書七件のうち六件については、休会中の継続審議として各担当常任委員会に付託されましたが、岸根節門氏より提出された、「訴訟関係報告書の確認等について」は会期中の審議として総務常任委員会に付託とし、本会議第一日は散会と

なりました。

第百(九月二十五日) 本会議は休会、総務常任委員会のみの開かれ、付託された三議案と陳情一件が審議されました。

第一(九月二十四日) 本議会
一、総務常任委員会に付託された、二つの条例改正案と国保会計補正予算が上掲され、飯島委員長報告の通り原案可決

二、岸根節門氏よりの陳情については、飯島総務常任委員長より、次の通り報告があり、大多数をもって不採択となりました。
(総務委員長報告書)
「陳情第七号について審査を行ないました。本陳情に対しては、既に裁判所において判決され、また訴訟中のものであるため、公平なる判決を期待するためにも、本件は不採択とすべきものと決しました。」以上につき本件については、岸根氏より文書をもって町内に配布されている向きもありますのでその経過について概略お知らせします。本問題は昭和三十年十一月岸根氏が買った土地と、隣地地主との境界争いから裁判となりましたが、現地検証なども行なわれた結果岸根氏が敗訴となりました。
その際町が隣地地主に交付した証明書が不当であるとして、町長を相手とし、行政裁判に訴へたものですが、水戸地方裁判所においてはその訴えは不適法であるとして却下となりました。岸根氏は更に東京高裁に控訴しましたが、東京高裁でも原審の通りとして棄却となり、裁判は決定しております。
なおついでに訴えた町長に対する損害賠償請求の件も、不適法であるとして却下となっております。

新庁舎の建設

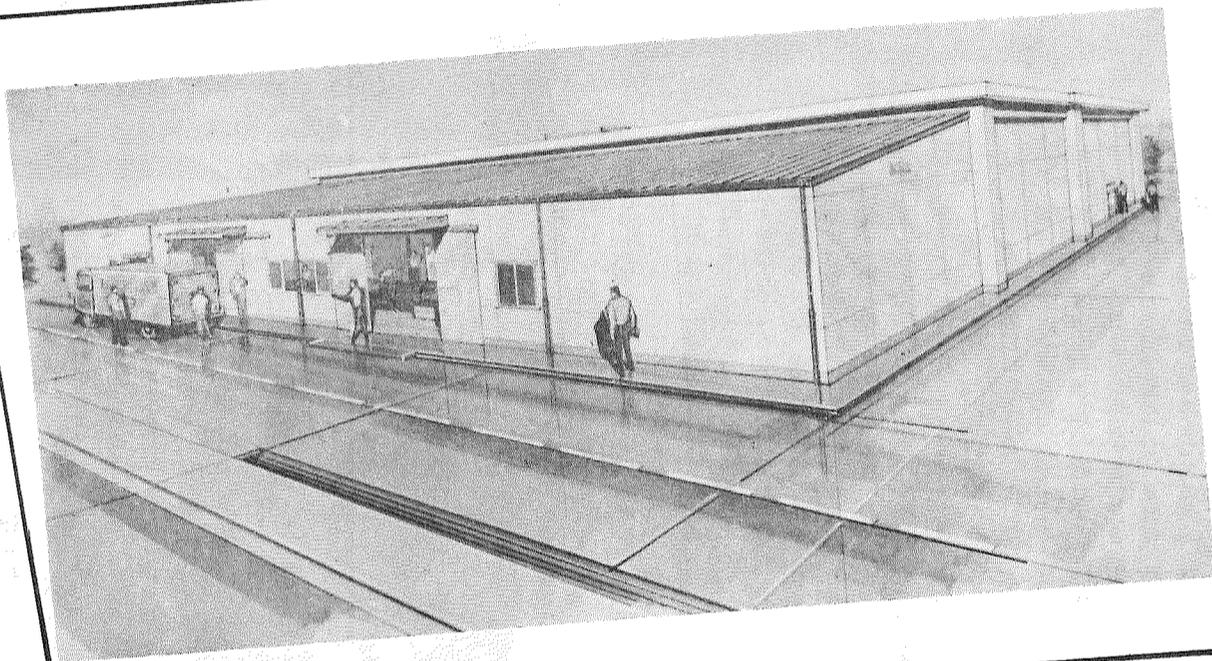
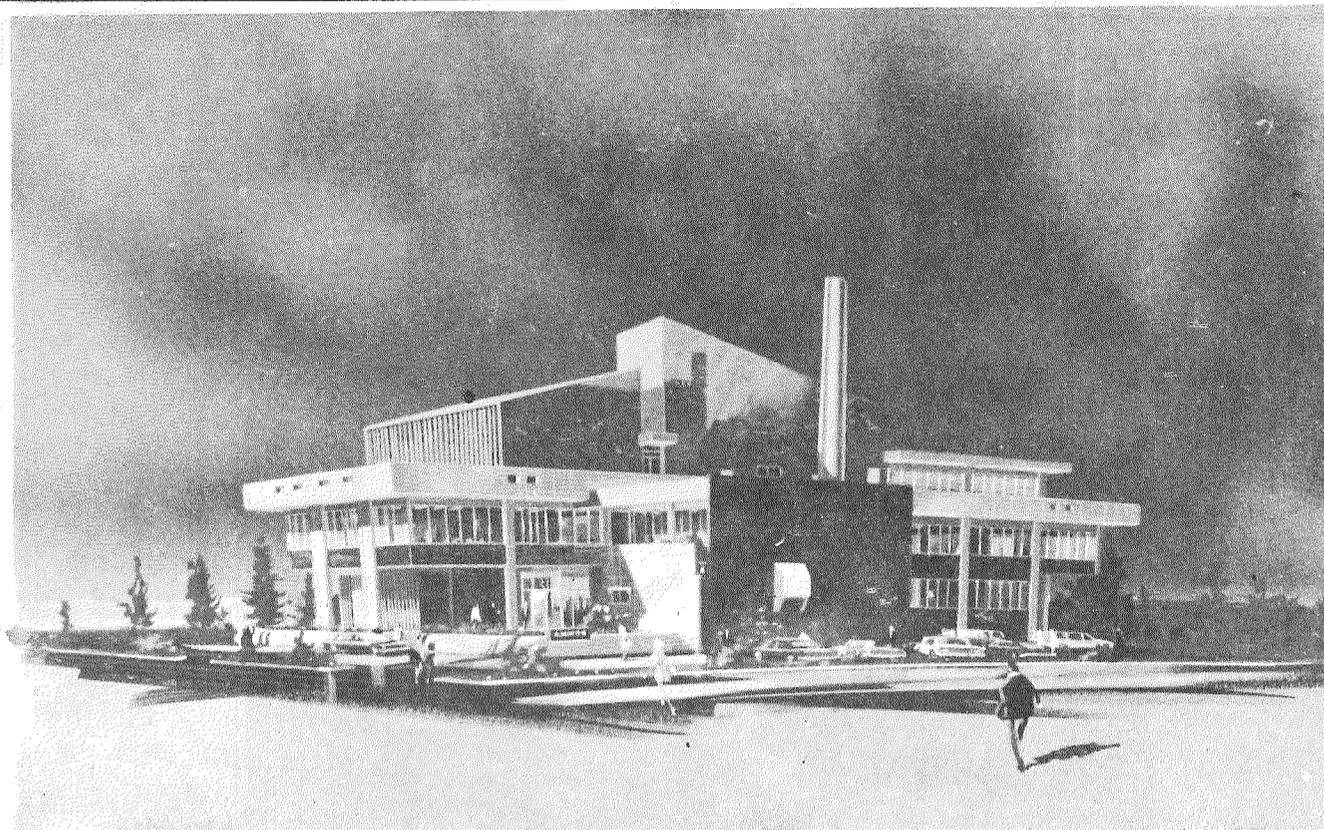
磯浜曲松の町有地に

町民の皆さんが永い間の念願でありました、新庁舎の建設がいよいよ実現することになりました。

早くから町や議会などでどこに建てるか検討の結果、曲松の町有地に決まり、防衛庁の補助を受けて、関東では初めての防音庁舎として建てることになりました。

- 敷地面積 七、八九六㎡(二、三八九坪)
- 鉄筋コンクリート 三階建(冷暖房空調設備)
- 一階 八五二・一四㎡、二階 九〇七、四四㎡
- 三階 六〇九・〇〇㎡、屋階 八九・五五㎡
- 計 二、四五八、一三㎡(七四三坪)
- 車庫 一五〇・〇〇㎡(四五坪)

(写真は完成予想図)



町営冷蔵庫の建設近くはじまる

流通機構の改善と 魚価の安定に貢献

昨年以来町をはじめ、水産関係者の絶大なる協力を得て、積極的な陳情の甲斐あって、防衛庁の民生安定事業の一つとして取り上げられ、近く着工することになりました。事業の概要は次の通りです。

- 一、建家面積 七八一㎡
- 一、施設規模 凍結一〇t
- 冷蔵五〇〇t

一、総事業費 約六、六〇〇万円

この施設の完成によって、いわゆる「豊漁貧乏」は大幅に緩和され、魚価の安定と漁業生産性の向上に大きく貢献することでしょう。

(図は完成後の冷蔵庫姿図)

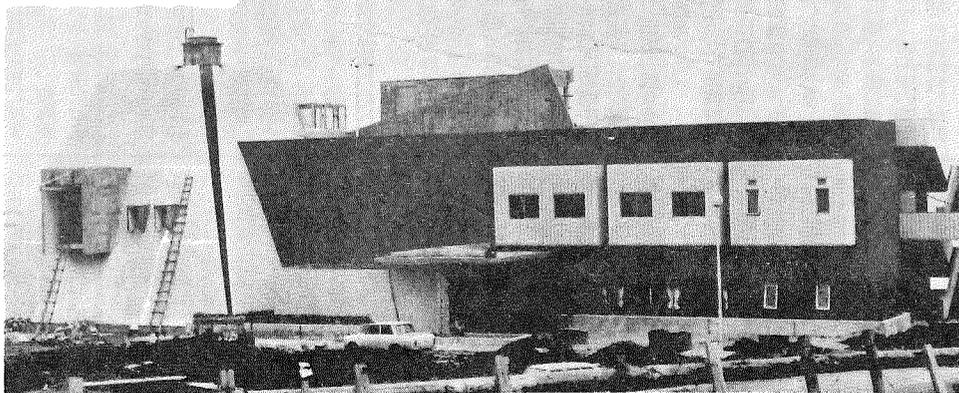
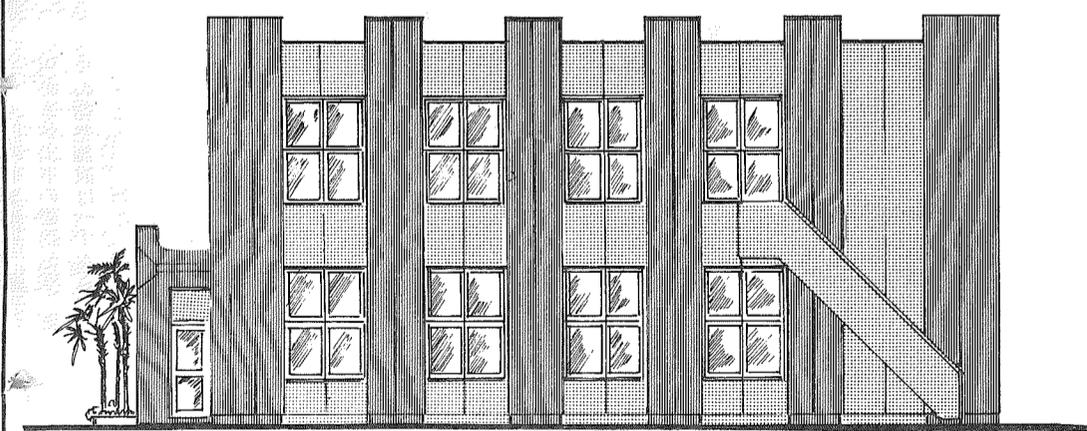
商工会館

建設準備すゝむ

大洗町商工会のつくる会館についてはこのたび会館建設実行委員会が設立され左記のような事業計画により着々と準備がすすめられております。

- 鉄筋コンクリート二階建一〇五坪
 - 建設費 一〇、〇〇〇、〇〇〇円
 - 設計費 四八二、〇〇〇円
 - 備品費その他一、七二〇、〇〇〇円
 - 合計 一二、二〇二、〇〇〇円
- 内容
大会議室 小会議室 展示室 事務室 接客室

(図は商工会館側立面図)



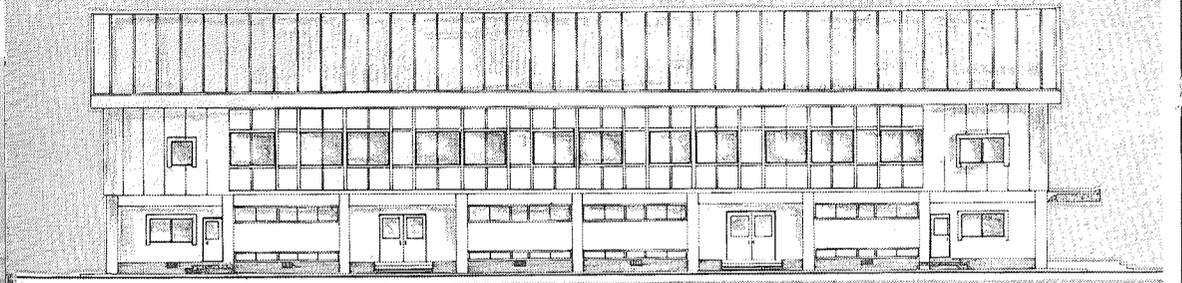
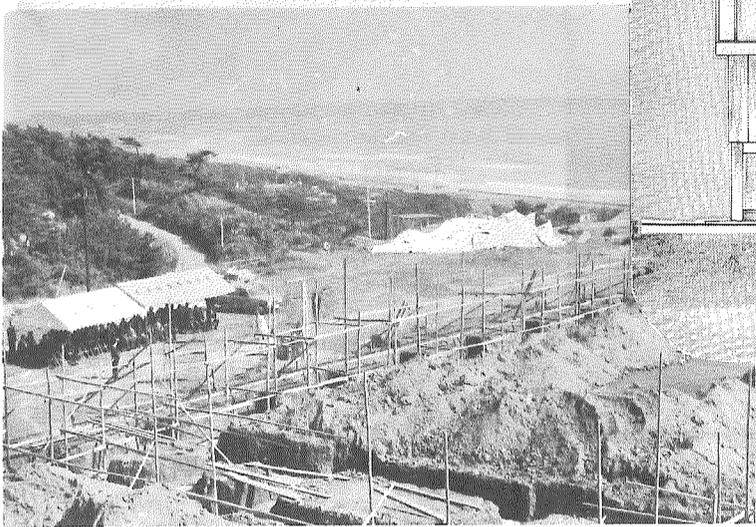
海の子供の国

水族館の 竣工近し

当町祝町下海岸につくられる海の子供の国(プール施設は七月一日オープン)は、この夏県内外のお客さんから好評を博し、大きな成果を収めました。この十一月一日オープンとなる水族館の建設もいま急ピッチですすめられています。本施設は、全国有数を誇る近代的装備と、豊富な魚を保有し、特にブリを主体とする二、〇〇〇匹におよぶ魚の大群が、大水槽を廻遊する壮観は日本一といわれています。

オープンの暁は、各方面から多勢の見学者が訪れることでしょう。(写真は完成まじかな水族館)

南中体育館
完成予定図

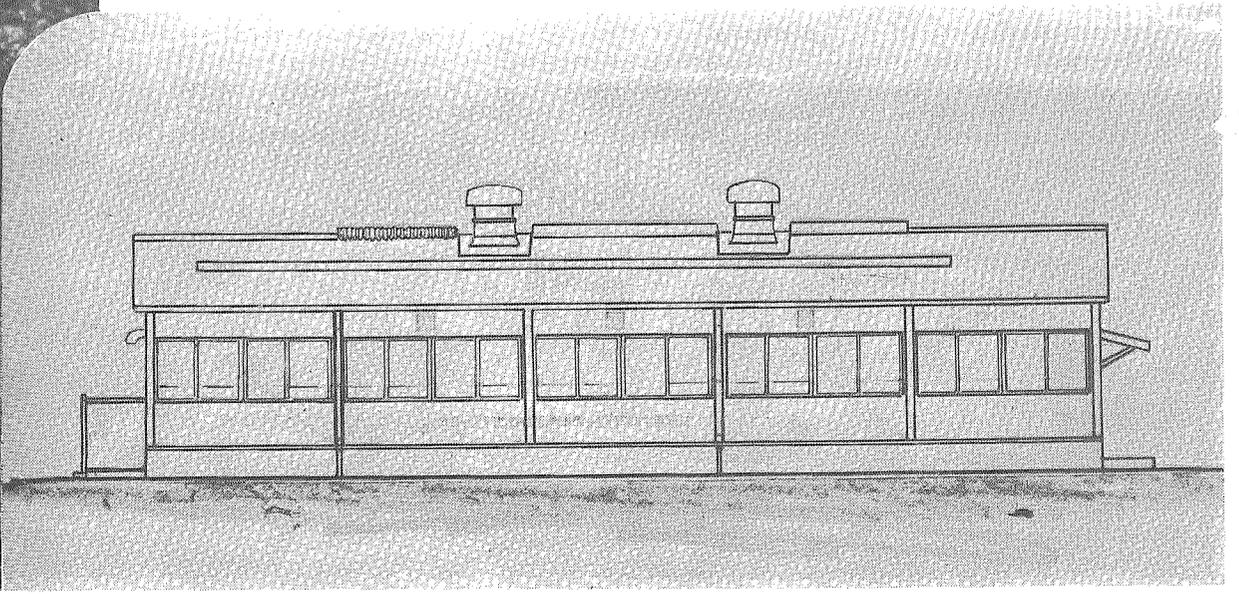
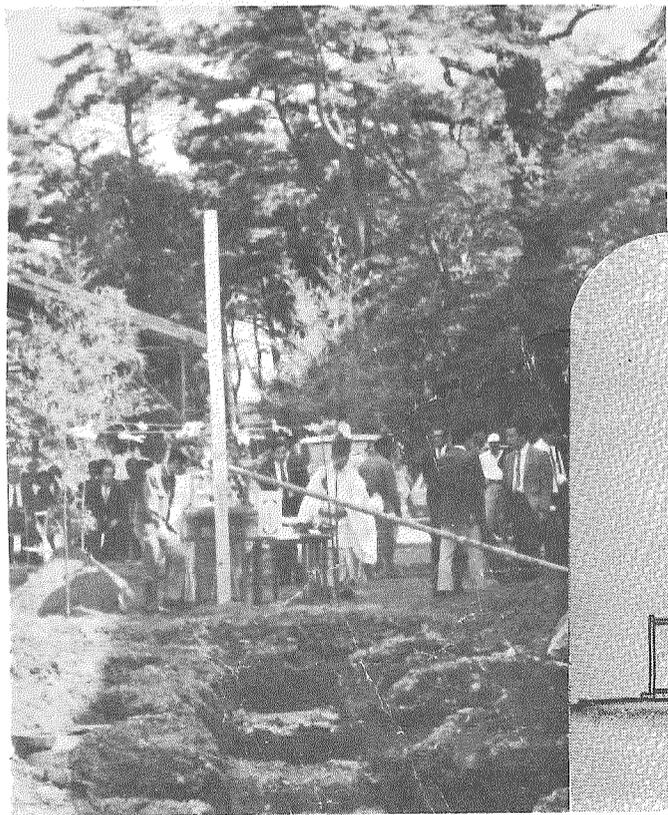


待望の南中体育館着工さる

永い間の念願であった一中の給食室と、南中の屋内体育館とが、去る一〇月九日それぞれの現地で起工式を終り、いよいよ建設に入りました。一中給食室は、鉄骨造り平家建、二二〇平方メートル、四階リフト、調理室、配膳室、前室、休憩室、倉庫、四転釜、その他施設設備一式で、一、二〇〇万円で鹿島建設KKが請負い明年一月一杯に完成の予定、南中体育館は、鉄骨造り二階建一、〇〇〇平方メートル、玄関、教官室、更衣室、シャワー、倉庫、ギャラリ、放送室、ステージ、本体工事一式で、清水建設KKが本体工事、三、五〇〇万円で請負い明年二月一杯には完成の予定です。この施設が完成すれば、一中では全校完全給食実施が実現し、南中体育館については、雨天の際の体育活動障害や室内競技の問題などが解消し、生徒の保健体育の向上に多大の貢献をするものと期待されています。



一中給食室
完成予定図



磯浜地区、お不動尊周辺の 排水整備工事 近く完成

永い間懸案となっていました、この地帯の排水処理解決をはかるため、去る九月着工されたこの工事は目下順調にすすみ、おそくも一月中にはでき上る予定です。工事の概要は

総延長 七七一m
 下水管渠工事 口径 八〇〇mm
 ソケット管 口径 六〇〇mm使用
 マンホール 一九ヶ所
 総工事費 七、五〇〇万円です。



(写真は排水整備工事現場)

海岸防災さらに増強 五ヶ年計画で四〇〇m延長

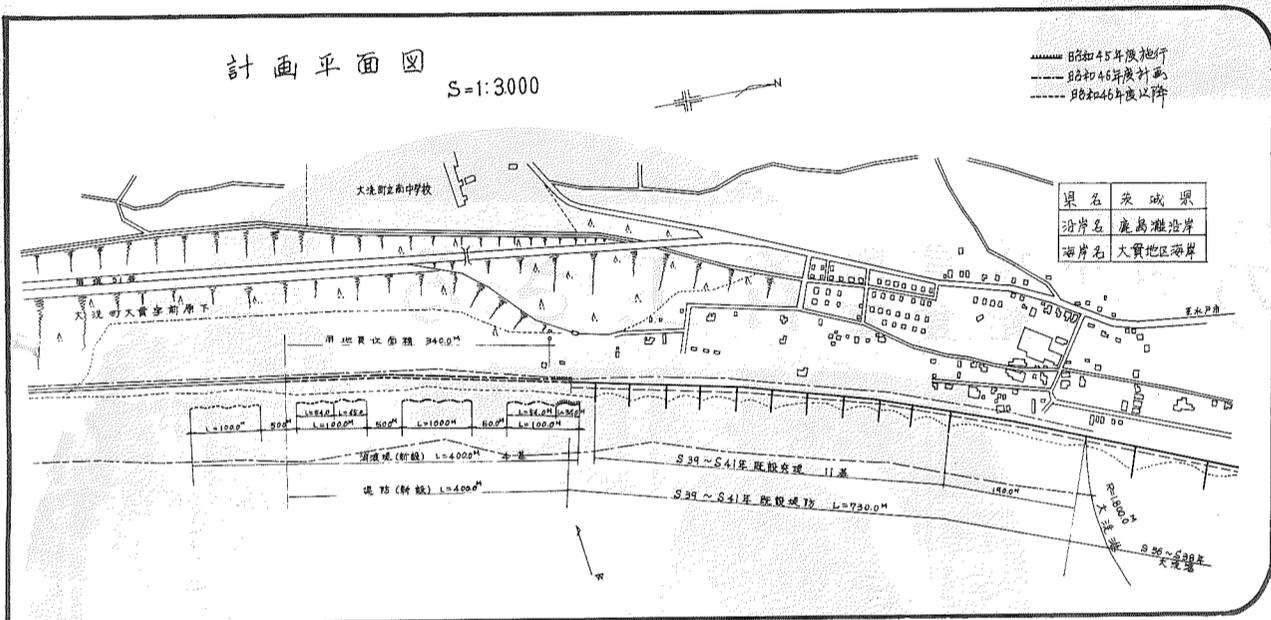
現在当町海岸(旧西防波堤より大貫町前下まで延長二、二一〇m)には防災護岸(パラペット)が完成し、住民の民生安定に大きな貢献を果たしていますが、本年度より更に南方へ四〇〇mが建設省予算で延長されることになりました。

今度新しくつくられる護岸は、従前のパラペットに直接打寄せていた波浪を、護岸前五五m、三〇mのところ、消波堤(六角ブロックを積

み重ねて打寄せる浪を破碎する)を設置してパラペットへの抵抗を弱める方法がとられます。

工事年度は昭和四五年、四九年までの五ヶ年間、総事業費は七、一〇〇万円、全額国費でつくられます。

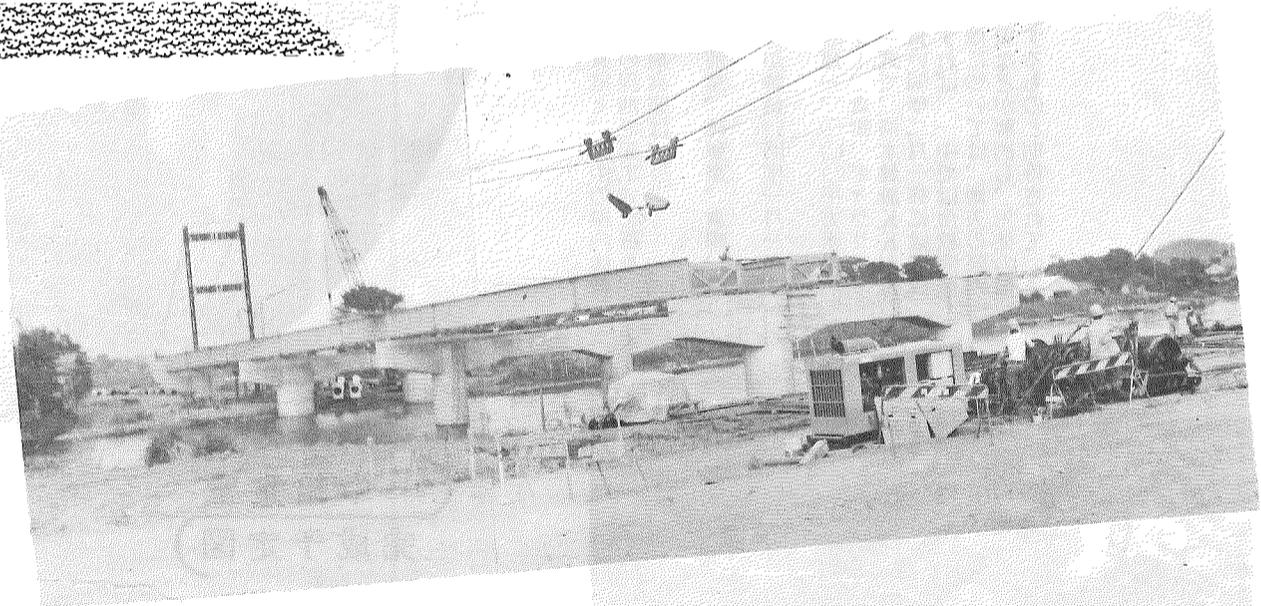
全工事防波堤四〇〇m、消波堤四〇〇mのうち今年度はその一部各三六mが施工されます(図は防災護岸の計画図)。



進む51号国道 (大貫バイパス)の延長工事

当町大貫町前原山手前より、大貫高台を走り、常澄村島田地内をよこぎり、塩ヶ崎地内を抜けて水戸街道に通ずる国道五一号線の延長工事は、すでに用地売却も終りいまま釜口山橋(仮称、釜口山より対岸の島田に至る架橋)がほぼ完成し、路盤工事も近頃ははじめられることになっています。

総延長四、五〇〇m、幅員二五m五〇の四車線の道路が使用開始の予定です。明年度中にはその中二車線がこの国道の開通によって、周辺の開発が急テンポで図られることが予測され、大洗町の産業、経済の発展に多大の貢献をすることでしょう。(写真は完成近い釜口山橋)

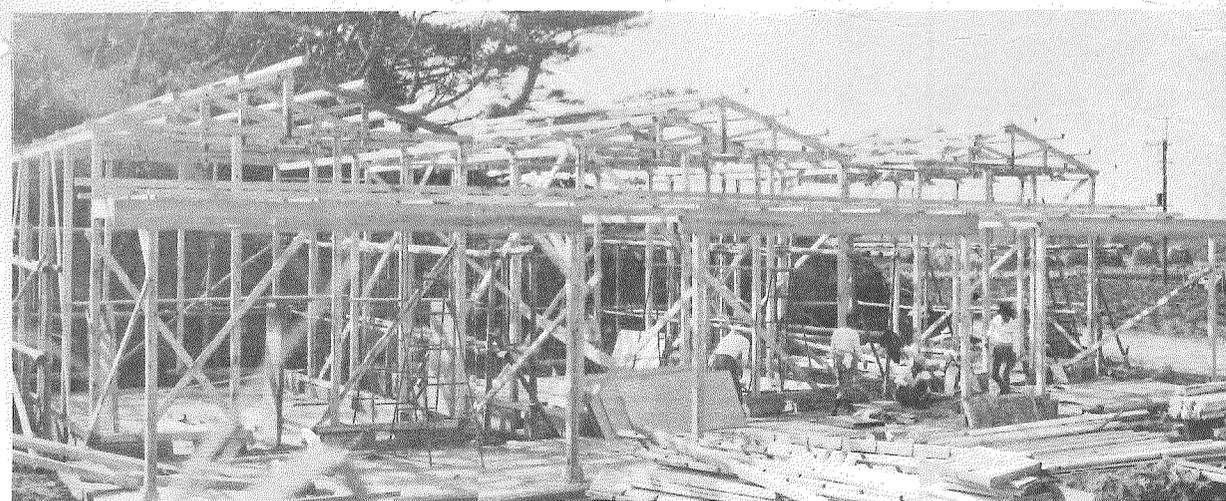


大洗町農協で地域特産事業を推進 かんしょ貯蔵庫(キャリング倉庫)

かんしょ貯蔵庫(キャリング倉庫) 農産物集荷所などを建設

大洗町農協では、当町の特産物として伝統を誇るかんしょを主体とした農産物の集出荷事業を推進するためかねてより計画してきたが、このほど国、県、町などの補助事業としてかんしょ貯蔵庫(三棟)の建設に着手、去る一〇月一日棟上式が行なわれ、来る一〇月末には、つづいて農産物集荷施設が建てられることになっています。これによって、かんしょをはじめその他の特産物の出荷調整が図られ、農家収入の向上に大きな役割を果たすことになるでしょう。

- 事業の内容は
- キャリング庫 三棟(一棟三六・四m²)
 - 貯蔵能力一棟当り四・五t
 - 集出荷所 一棟 一六六m²
 - 総事業費 六九五万円



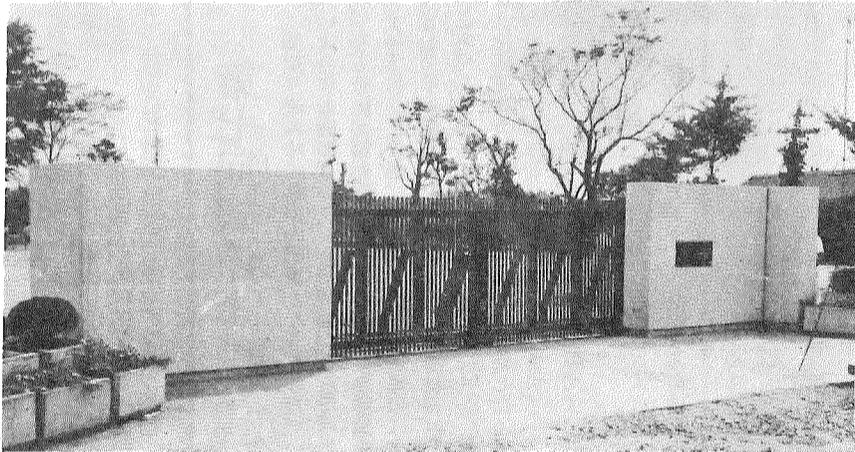
(写真はキャリング倉庫建築現場)



もりあがる中学校体育 ——中郡大会に輝く総合優勝

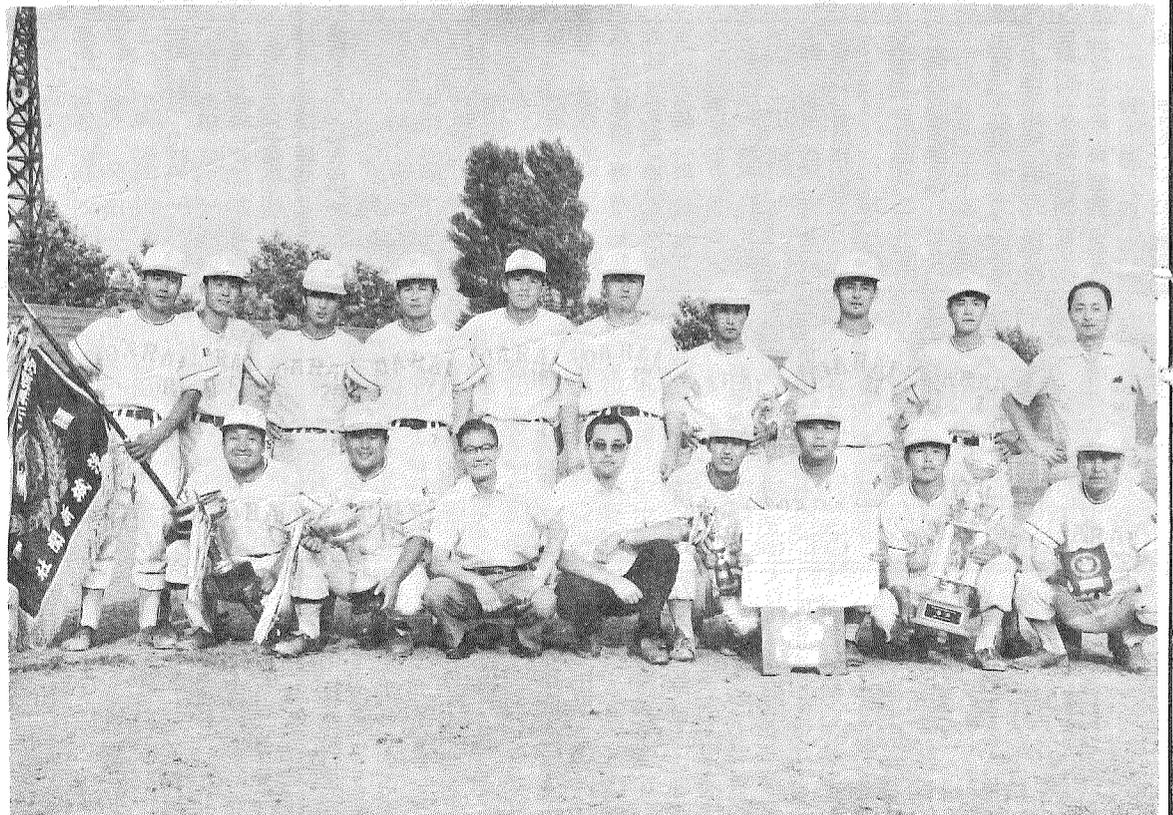
東茨城県中学校総合体育大会は、去る六月三十一日から四日間、茨城町、内原町の中学校を会場に、郡内十三の中学校が参加し、炎天下の会場一杯に、日頃の練習を發揮して制覇を競い合いました。大洗一中は、連日各種目に奮戦し次のような優れた記録をおさめました。

- | | | |
|------|----------|------------|
| 柔道 | (総合・優勝) | 関根 誠 (3年) |
| | (個人・優勝) | 新妻 貞義 (3年) |
| 剣道 | (総合・準優勝) | 川上 洋一 (1年) |
| | (個人・準優勝) | 小松崎一寿 (3年) |
| 体操 | (総合・優勝) | 坂本 富計 (3年) |
| (男子) | (個人・優勝) | 小林 孝男 (3年) |
| | (準優勝) | 竹下 政彦 (2年) |
| 野球 | 優勝 | |
| 籠球 | 優勝 | |
| 排球 | (女子) 準優勝 | |
| | (男子) 準優勝 | |



夏海小学校に校門を寄贈 田口 五三さん

夏海出身の水戸市竹隈六四七、田口五三さんは、夏海小学校の防音校舎完成を記念して益々教育が伸展するようにと、素晴らしい校門を寄贈して下さいました。何んとしても校門が欲しいと願っていた矢先だけに、学校や子供達はじめ関係者は大よろこびで、田口さんのご厚意に心から感謝しております。



全大洗——二度目の栄冠 第21回市町村対抗野球大会

第21回茨城県市町村対抗野球大会は、去る八月六日より十三日まで八日間、水戸市県営球場に於て県下十五市十四郡の代表三十チームが参加し炎天下の球場に白球を追っての熱戦が繰り広げられました。我が全大洗チームも東茨城県予選大会を経て中央大会に臨み、県下の強豪と対戦し、猿島郡代表全境チームを1対0で敗つたのをはじめとして、常陸太田市を4対0、勝田市を延長十七回の末1対0で敗り準決勝戦鹿島郡代表住友金属を延長十一回1対0で敗り決勝戦は那珂郡代表全東海チームと対戦接戦の末1対0で敗り、昭和三十六年の初優勝以来二度目の栄冠を獲得いたしました。試合終了後、閉会式が行われ、後藤武男大会会長より米川英雄監督に大優勝旗を手渡され、知事、県教育長、県議会議員、県体育協会会長より表彰状が授與され、最高殊勲選手には、四試合完封、四四インニングズ無失点の大会新記録を樹立した田口勝男投手が選ばれました。

